安定した雇用と仕事おこしで景気対策を

福井　節子　議員

市民の「経済を何とかしてほしい」との願いに応えた施策を。

公契約条例の制定

問 公共工事・民間委託・指定管理などで、低賃金化や不安定雇用によるサービスの質や安全性・安定性の低下が心配されます。

公契約条例（※）の制定が必要ではないでしょうか。

答 総務部長

公契約条例の制定段階に至っていません

条例の趣旨は理解しますが、市は現行法制度の中で低価格受注の抑制に努めており、国の公契約法の整備も見極めて対処する必要があると考えます。

問 安曇川学校給食センターの民間委託で、労働条件・労働環境において法を守り、休暇・休憩の適正な取得、欠員の補充等はされているでしょうか。

答 教育部長

業務委託契約書の規定通り、委託業者は休暇・休憩の取得、調理員の配置についても確保されています。

問 指定管理の事業者変更で働く人の身分が不安定になっています。市の責任で継続雇用を。

答 政策部長

現在の従業員の雇用安定という面から、新しい指定管理者と協議をしていきたいと考えています。

再任用で人材育成と地域経済の活性化を

問 次年度も継続する業務に就く市臨時職員は、専門性と継続性が必要であり、若者の人材育成と地域活性のためにも再任用可能な人事を。

答 総務部長

地方公務員法に臨時職員の任用期間は最長1年間と定められており、これを超える再任用は考えておりません。

問 クラスを担任する保育士は正職に。他の市の嘱託職員も再任用出来る条例制定を。

嘱託職員の再任用期間は検討

答 嘱託職員の現状には問題意識を持っており、安心して仕事がしてもらえる条件整備を念頭に引続き検討します。

住宅リフォーム促進事業の継続と拡充を

問 経済効果が大きく、市民にも商工業者にも喜ばれることから、制度の対象を拡大（リフォーム全般・水洗化含む）し、申請の簡素化を図られたい。

答 産業経済部長

補助申請等制度の簡素化を図ります

現在の補助基準は、県内の他市町と比較しても最も高い基準となっています。

ただ、申請が複雑で分かり難いとのご指摘もありますので、制度の簡素化と窓口の一本化を図ります。

（※）公共事業を発注する際、事業に従事する労働者の賃金水準を守り、適正な労働条件を確保することを目的に制定するもの。

地域の要望書の扱いと回答について

宮内　英明　議員

8月24日付で、今津町天神区長、今津東小PTA会長からの通学路の安全対策と歩道の設置について、左記の内容の要望書が提出されました。

「要望書趣旨」

最近では高島市今津町栄区集会所出入口から高島市斎場出入口に至る約300mの道路は幅員も狭く、天神区民の生活道路と通学路として使用されていますが、斎場利用の増加と送迎車の大型バス利用などによる車列も長く、非常に危険です。

生活への安心安全対策と通学路の安全確保のためにも是非とも歩道の設置をお願い申し上げます。（通学路利用児童数は37名）

安心安全対策が求められる通学路

問 この回答文書について事務的に処理されているのではないか、また現地踏査されたのでしょうか。合併前に自衛隊公有地部分に一部歩道が設置されましたが、その後、放置状態で安全対策が出来ていない状態です。早急に対応すべきと考えますが、担当部長の考えを伺います。

答 土木交通部長

身近な生活道路の整備計画を見直します

現地踏査については担当者と共に確認しています。本件につきましては、各区等から要望された比較的延長の短い市道については、身近な生活道路の整備計画の中で、緊急性や費用対効果を考慮した上で、毎年優先順位の見直しを行っており、本路線についても整備計画の中で見直しを行います。

原発事故に備えた防災訓練について

問 県・長浜市・高島市は10月26日「関西電力大飯発電所4号機でトラブルが発生し、放射線物質が放出されたとの想定」で防災訓練が実施されました。その内容について伺います。

答 政策部長

この訓練は福井県原子力総合防災訓練と連携して行われ、当市では緊急時情報収集伝達訓練と災害活動体制設置運営訓練を実施しました。具体的には滋賀県や関西電力からの防災FAX等の受信訓練や原子力災害警戒本部の設置と運営でしたが、今後市民の皆さんへの原子力防災に関する知識の普及と啓発に努めてまいります。

その他の質問

◆基地交付金「調整交付金」減額について問う

◆融雪剤の使用制限は出来ないのか

指定管理者の選定方法を質す

山川　恒雄　議員

この度の「道の駅藤樹の里あどがわ」と「ガリバー青少年旅行村」の指定管理者の選定について、納得がいかないと多くの市民の方からご意見を頂きました。

問 今回新たに納付金制度の導入が図られた結果として、「道の駅藤樹の里あどがわ」の指定管理者に、選定委員会が選んだ事業者でなく、最終市長判断で別の事業者を選定しました。「ガリバー青少年旅行村」についても、選定委員会が慎重審議で充分時間をかけ選定した事業者を除し、第三位の事業者を市長判断で選定しました。今回の選定経過や方法について、市民に大きな問題提起をしたことは現実であり、市長の政策判断についての市民目線での丁寧な説明を求めます。

答 政策部長

両施設とも、利用者の増大やサービス向上に向けた具体的な提案内容、納付金の額等を比較検討し、総合的に判断させていただきましたが、ガリバー旅行村については、利用者数の下落傾向を踏まえ民間レベルの発想と経営能力も考慮しました。

問 「道の駅藤樹の里あどがわ」の選定後の検証で、収支計画内の納付金問題等により、施設の利用者と周辺住民の安心と安全を最優先する公共施設としての役割が果たせなくなった場合、行政指導はどの様にされるのか説明を求めます。

答 産業経済部長

魅力ある道の駅づくりを目指します

道の駅の運営で最も大切なことは、利用者等の安心・安全を図ることもさることながら、地域との連係機能を保ちながら如何に集客と賑わいを創り出していくかです。新たな指定管理者のもと、出店・出品者と協働しながら、魅力ある道の駅運営に努めていきたいと考えています。

野生動物の被害対策に対する市の将来展望は

問 特に鹿の駆除は朽木以外の市内にあと2箇所位、加工処理施設を設置し、日野町の様な積極的な加工販売こそが、抜本策となると確信するが、市の見解を伺います。

答 産業経済部長

鹿肉加工処理施設の設置は難しいのが現状です

本市では、猟友会朽木支部が「朽木ゴールドもみじ」として鹿肉販売をされています。当面は、現施設の活用を通した販売支援を行うこととし、市内各所に加工処理施設を置く考えはありません。

朽木の鹿肉加工処理施設